

全文検索エンジンGroongaへのmrubyの組み込み

(1) 特徴

「開発者向け」で「C主体」なmrubyの活用方法

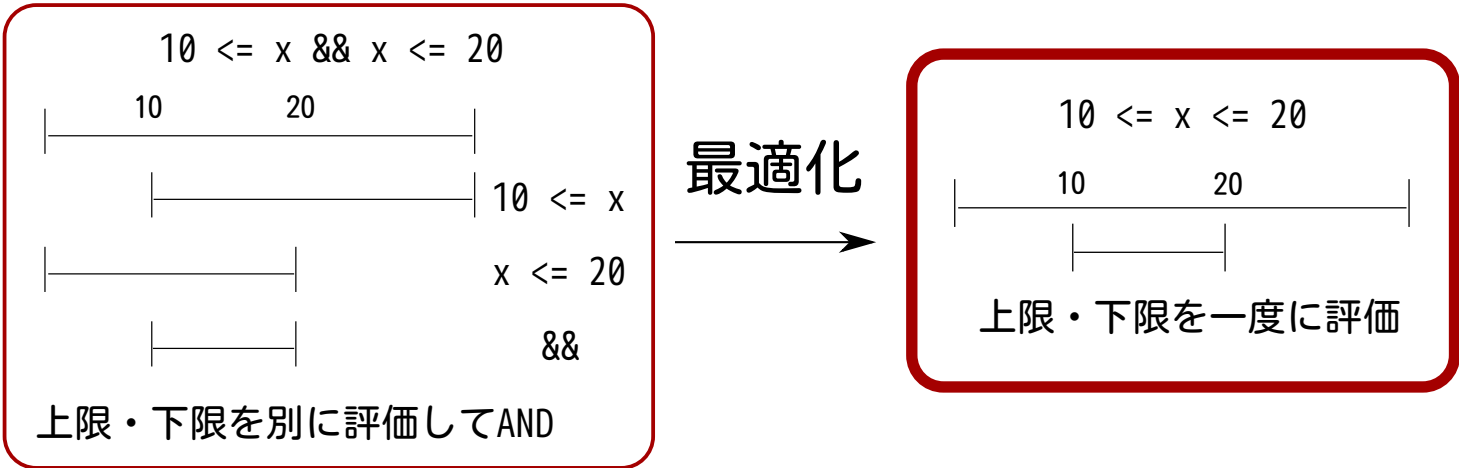
対象者	主体	mruby	C
ユーザー向け		拡張性が高いアプリ (Trusted・rumin) (PCで動かすならCRubyでもよい)	プラグイン・設定 (mod_mruby)
開発者向け		組み込み環境向けアプリ (SEIL)	アプリのコア機能 (Groonga)

(2) Rubyを適用した箇所

クエリーオプティマイザー

検索クエリーをより高速に実行するための実行計画を立てるモジュール。
高速な検索機能を提供するために重要な機能。

例 クエリーのASTを解析するため煩雑な処理になる。よってRubyで書けると便利。



(3) Rubyを活用したことによる効果、社会に及ぼす影響

- 「開発者向け」で「C主体」なmrubyの活用方法の普及
(事例ができるため)
- mrubyがよくなる
(バグを見つけたらパッチを書いて報告しているため)